

SSKS

あけぼの つうしん

4月号

1995年
2023年

8月10日
4月5日

第3種郵便認可(毎週1回 水曜日 発行)
発行 SSKS 増刊通巻 第8726号

発行所 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
障害者団体定期刊行物協会 定価50円



2人の新入利用者を迎えて新年度がスタートしました！

社会福祉法人あけぼの福祉会 <http://akebono-fukushi.com>

- 府中共同作業所（法人本部） 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6
☎042-367-0640 E-mail: kyoudous@akebono.fuchu.tokyo.jp
- ワークセンターこむたん 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6
☎042-306-8639 E-mail: komutan@akebono.fuchu.tokyo.jp
- 府中生活実習所 〒183-0005 東京都府中市若松町5-2
（短期入所事業併設） ☎042-363-5251 E-mail: f-seijitu@akebono.fuchu.tokyo.jp
- 地域生活支援センターあけぼの 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F
☎042-358-1085 E-mail: siencenter@akebono.fuchu.tokyo.jp
- ホームヘルプステーションきぼう 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F
☎042-352-0630 E-mail: kibou@akebono.fuchu.tokyo.jp
- グループホームペンギんはうす 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル3,4F
（グループホームあけぼのユニット） ☎042-319-8915 E-mail: pengin@akebono.fuchu.tokyo.jp
- グループホーム樹林の家 〒183-0026 東京都府中市南町6-52-10
（グループホームあけぼのユニット） ☎042-319-2268 E-mail: kirin@akebono.fuchu.tokyo.jp
- あけぼのショートステイ 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル2F
☎042-319-8917 E-mail: akebonoshort@akebono.fuchu.tokyo.jp

2023 年度

府中生活実習所 入所式

桜咲く入所式

府中生活実習所では、4月3日に2023年度の入所式を行いました。

今年度新しく入所された方は、東京都立武蔵台学園を卒業した坂本真子(さかもとまこ)さんです。

今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策から施設全体ではなく、人数を制限して入所式を行いました。会場のホールは、お祝いの紅白幕や紅白の花道で飾られ、春らしいフラワーアレンジメントでお祝いの準備をしました。

当日は、学校時代の担任の先生、保護者会役員のみなさま、法人理事、施設長、3グループ、1グループが出席し、坂本さんの門出をお祝いしました。

温かい拍手に迎えられ、ご両親とともに坂本さんが入場し、入所式が始まりました。来賓の方々からのお祝いメッセージを真剣な表情で聞いていました。



坂本真子さんの紹介

坂本さんは、音楽が好きで、YOASOBI や SMAP、嵐などの J-POP や童謡、YouTube の音楽など幅広く聞くそうです。所属する 3A グループにも音楽が大好きな人が多くいるので、一緒に楽しむことができる機会を作りたいと思います。

お休みの日には、ご家族と公園やドライブに出かけるそうです。

また、最近では関わりたい人に自分からコミュニケーションをとろうとする姿が見られるので、利用者や職員のみなさんと新しい人間関係を築いていって欲しいと思います。



2023年度

ワークセンターこむたん 入所式

笑顔の入所式

2023年4月3日、桜が満開の温かい日差しの中、ワークセンターこむたんでは2023年度入所式がおこなわれました。新入所者は、この春、都立府中けやきの森学園を卒業された佐藤菜々花(さとうななか)さんです。

前日からこの日のために、利用者全員で手作りの飾り付けをしました。入り口からエレベーター、会場までこむたん全体が華やかに飾られ、みんなで迎える準備をしました。

今年度もコロナ感染予防対策として各課をオンラインで繋いだ式典となりました。

式典が始まり、初めは緊張した様子がありながらも、元担任の先生や利用者、職員などたくさんの方から祝福され、嬉しそうな表情に変わっていきました。特に元担任の先生からのご祝辞では嬉しそうに声をあげながら真剣に聞いている様子がありました。



佐藤菜々花さんの決意表明



式典の最後に行った佐藤さんの決意表明では「体調を崩さないよう無理せず頑張りたいと思います」と新しい場所で頑張っていきたいという素直な気持ちを伝えてくれました。

佐藤さんは、総合事業部はつぴい課の所属となり、新たなスタートをきりました。これからは社会人として先輩方と一緒に仕事に励みながら活動を楽しんでもらいたいと思います。

ワークセンターこむたんでは2年振りの入所式で久しぶりの新入利用者を大歓迎する温かい雰囲気に包まれていました。

ワークセンターこむたん

勤続 20 年・30 年のお祝い

ワークセンターこむたんでは、4月3日に「勤続20年・30年のお祝いの会」が行われました。勤続20年のお祝いでは行本将也さん、30年のお祝いでは飯田順子さんが表彰を受けました。



まだまだ制限がある中での式典となり、全員が同じフロアでお祝いをする事はできませんでしたが、オンラインで各課をつなぎ、ワークセンターこむたんみんなでお祝いをしました。式では、ともに働く利用者からのお祝いの言葉で、「先輩としていろいろ教えてください」「長く働く事という事は想像できませんが、カッコいいです。」と尊敬の言葉を言われると、お二人の嬉しそうな笑顔が見られています。また、サプライズとして、かつてお世話になった学生時代の担任の先生や、ワークセンターこむたんの元職員からもお祝いのメッセージが届きました。

飯田さんは、いただいた言葉にしっかり領

きながら耳を傾けており、最後の挨拶では「本日はこのような会をひらいて下さりありがとうございます。私は府中共同作業所で7年半、その後こむぎ工房・ワークセンターこむたんと合わせて30年働いてきました。これからも色々あると思いますが、楽しい人生を送ってみたいです。」と宣言され、その姿は、自信にあふれていました。

行本さんは緊張の面持ちでしたが、力強い言葉で「20年前はマフィンやチーズケーキをつくっていました。その後は公園清掃や下請け業務を担当していた時期もあります。今は食品部の事務で頑張っています」と話され、最後に「これからも長く働けるよう体に気を付けて頑張ります」と満面の笑顔で語っている姿が印象的でした。

たくさんの方からお祝いの言葉や尊敬の言葉はお二人の今後の糧となったことでしょう。

飯田順子さん、勤続30年おめでとうございます。行本将也さん、勤続20年おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待しています。



府中共同作業所 出発式



～なかまとがんばることで

あおぞらにはばたけ～



府中共同作業所では、2022年の11月より利用者の基礎集団であるグループ編成と活動内容の見直しを検討してきました。これまでの基礎集団

＊あおぞら班

重症心身障害者のグループ

① 健康を守る

② 生活を豊かにする

③ 労働への意欲を高める

を3本の柱として活動

＊がんばる班

木工部 ふきん部 布製品部 総務部

4つの部で構成し、作業を中心とした活動の中で一人ひとりが自信や誇りを高め、お互いに評価、尊重し合える集団作りを目指す

利用者の年齢層が高くなり、がんばる班の利用者の中にも、作業(仕事)中心ではなく、健康を守る、生活を豊かにする活動のニーズが高まってきました。一方で、もっと仕事をがんばりたい利用者もいます。それぞれの利用者のニーズに合わせた活動をしていくために、がんばる班も作業以外の活動(余暇活動)の保障ができる活動プログラムに見直しました。

そして、もっと仕事をがんばりたいグループを新たに創設することにしました。

半年間の試行期間の中で、利用者は活動体験をしながら、職員は1週間のプログラムや作業内容を検討しながら新体制のグループでの活動イメージを作りあげてきました。

2023年4月より

＊あおぞら班

作業と余暇活動を半日ずつ行うグループ

＊がんばる班

余暇活動の時間を個々に選択できるグループ

＊はばたけ班

作業中心に活動するグループ

3つの班編成での活動が本格的にスタートする初日の4月3日は、「出発式」を行い今年度の目標や活動内容を改めて確認しました。

新設された「はばたけ班」の名前には、「なかまとがんばることで、あおぞらにはばたけ」という思いが込められています。

新たなスタートで、利用者も職員も期待に胸が高鳴る出発式となりました。



資料を見ながら職員の説明を聞きます



新入職員紹介

1995年
2023年

8月10日
4月5日

第3種郵便認可(毎週1回 水曜日 発行)
SSKS 増刊通巻 第8726号

グループホームあけぼの樹林の家 生活支援員 北條 大(ほうじょう だい)



3月よりグループホーム樹林の家の職員として働かせていただくことになりました、北條大と申します。

両親があけぼの福祉会で勤めていることもあり、小さいころからお世話になっていたため、このような形でご縁をいただいたことを本当にうれしく思います。

私はとりわけ趣味といったものがなく、一人で何かするよりかは誰かと一緒に何かしたいと思っているため、ぜひ様々な趣味を教えてくださいたいです。

グループホーム職員として入居者のみなさんが安心できる家となるだけでなく、新しい楽しみを一緒に探していけるよう今後よりいっそう頑張ります。

ワークセンターこむたん 生活支援員 橋本 円(はしもと まどか)



4月からワークセンターこむたんに入職いたしました、橋本円と申します。

大学では子ども学を学び、保育・教育の道を目指しておりました。その中でワークセンターこむたんに実習先としてお世話になり、ボランティアやアルバイトを通して利用者の方々の温かさに触れ、私もこの温かさを持てる人でありたいと入職を志望しました。

趣味はドライブです。関東のお花畑を巡ったり、テーマパークに行ったりすることが好きです。

みなさんのやりたいことや叶えたい夢に寄り添い、笑顔を増やせる支援者を目指し頑張っていきます。



【編集後記】

今年の桜は平年より10日も早い開花で天候にも恵まれ、公園などではお花見をする人が多く見られました。

プライベートでは公園に出かけることが多いのですが、3月13日に厚労省が発表したマスク着用の「個人判断が基本」があってからマスクをしている人がだんだんと減っているように感じます。しかし、医学的な根拠がなく、まだまだ、感染対策を緩和することはできないとの思いもあり、全て自己判断に任せるとことの難しさを感じています。あけぼの福祉会では、今まで通りの感染対策を継続し、新年度も安心安全に過ごせるよう取り組んでいます。ご協力をよろしくお願いします。

(樹林の家 藤井 拓也)